

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, 目次, 奥付, その他

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://repository.ninjal.ac.jp/records/1125 |

国立国語研究所報告 94

研究報告集

— 9 —

国立国語研究所

1988

刊行のことば

『研究報告集』は、国立国語研究所において、研究員等がそれぞれの研究段階で行った基礎的研究や附随的研究、また研究方法に関する実験的調査、結果を確認するための検証調査等についての小報告をまとめて公にするものです。

今回は、6編の論文をもってその第9集とし、ここに刊行することにしました。

国語研究の上に寄与することができ、また教示、批判が得られれば幸いです。

昭和63年3月

国立国語研究所長 野 元 菊 雄

目 次

本文批判

.....石井 久雄..... 1

漢字情報データベース

.....斎藤 秀紀.....27

集合型言語の確定節文法

.....田中 卓史.....49

異言語間伝達における結束性の移行

.....西原 鈴子.....85

述語補文について

—日本語とインドネシア語の場合—

.....正保 勇... 111

日本語における重なり語形の記述のために

.....日向 茂男... 147

『研究報告集』収録論文一覧

第1集

- 「も」によるとりたて形の記述的研究 高橋太郎
雑誌九十種資料の漢語表記 宮島達夫・高木 翠
談話行動の実験社会言語学的研究——目標と資料収集方法について——
江川 清
身ぶりの記述について 江川 清
身振りを記録する——「変位」の記録表試案—— 杉戸清樹
談話行動の計量的研究について 米田正人
表現法の調査方法について 佐藤亮一・真田信治・沢木幹栄
明治初期東京人の階層と語種との関係
——『安愚楽鍋』を中心として—— 飛田良文

第2集

- 意味分野と語種 宮島達夫
日本語の機能動詞表現をめぐって 村木新次郎
談話行動の総合テキストについて 南 不二男・江川 清・米田正人・
杉戸清樹
文章朗読における調音上の特徴について 高田正治
幼児の使用語と語の意味の理解
——満2歳当日の一日調査から—— 大久保 愛
語の意味発達——最近の研究動向から—— 岩田純一
談話における「はい」と「ええ」の機能 日向茂男
音韻論における日本語五母音体系 石井久雄

第3集

- コ・ソ・アの指示領域について 高橋太郎・鈴木美都代
叙法副詞の意味と機能——その記述方法を求めて—— 工藤 浩

私生児を意味する方言のこと 渡辺友左
撥音の実験音声学的研究 高田正治
新聞の漢字含有率の変遷——明治・大正・昭和を通じて—— 梶原滉太郎
就学前幼児の語彙——4児による日常生活語の実態——
大久保 愛・川又瑠璃子
各種文章の字種比率 佐竹秀雄

第4集

迂言的なうけみ表現 村木新次郎
動詞とその下接語の発達の実態
——男児の2歳から3歳前半まで—— 大久保 愛
小学校低学年用国語教科書の用語 島村直己
分散処理端末における簡易型エディタについて 斎藤秀紀

第5集

「～が ある」の用法
——(あわせて)「人がある」と「人がいる」の違い——
高橋太郎・屋久茂子
雑誌九十種資料の外来語表記 宮島達夫・高木 翠
敬語の使い分け点 野元菊雄
津軽方言における単純疑問と疑問詞疑問 沢木幹栄
スカウト方式による用例採集法の実験について 高梨信博
漢字の読み書き調査の調査方法
——調査問題の作成方法の検討を中心に—— 島村直己
会話形式によるファイル管理情報の生成 斎藤秀紀
有形代名詞と無形代名詞
——日本語とインドネシア語の比較—— 正保 勇
日本語と外国語との照応現象に関する対照研究
上野田鶴子・正保 勇・田中 望・菱沼 透・日向茂男

第6集

敬語のパネル調査から(その1)——合計点と適応点—— 野元菊雄

促音の調音上の特徴について 高田正治

一児童の漢字習得 村石昭三

漢字コードの拡張法に対する試案 斎藤秀紀

概念情報処理 田中卓史

倒置構文に関する一考察

——日本語とインドネシア語との比較—— 正保 勇

ドイツ語挨拶表現の類型化操作について 石井久雄

第7集

公文書のあて名の敬称——一般個人あての場合—— 杉戸清樹

読みの眼球運動と読みの過程 神部尚武

小学校配当漢字外常用漢字の読み

——中一、高一を対象にした自己判定方式に

よる調査の結果から—— 島村直己

同形異語判別への仮名漢字変換処理の応用 斎藤秀紀

受動構文に関する一考察

——日本語とインドネシア語との比較—— 正保 勇

あるラテン語動詞活用表 石井久雄

第8集

標準語オトウサン・オカアサンの出自 渡辺友左

『日本言語地図』関連意味項目の全国方言調査 小林 隆

児童の漢字使用——課題作文の漢字含有率から—— 島村直己

光ディスクを使用した大量日本語データの蓄積 斎藤秀紀

話者の価値判断——その合意性と異言語への伝達の問題—— 西原鈴子

追加付加詞と追加接合詞に関する一考察

——日本語とインドネシア語の比較—— 正保 勇

昭和63年3月

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14
電話 03-900-3111(代表)
FAX 03-906-3530

UDC 809.56 (082)

NDC 810.5

本書の市販品発行所

〔〒162〕 東京都新宿区納戸町40 (03) 260-5281

株式会社 秀英出版

国立国語研究所刊行物一覧

国立国語研究所報告

| | | | |
|----|-----------------------------------|-------|--------|
| 1 | 八丈島の言語調査 | 秀英出版刊 | 品切れ |
| 2 | 言語生活の実態 ——白河市および付近の農村における—— | 〃 | 〃 |
| 3 | 現代語の助詞・助動詞 ——用法と実例—— | 〃 | 2,000円 |
| 4 | 婦人雑誌の用語 ——現代語の語彙調査—— | 〃 | 品切れ |
| 5 | 地域社会の言語生活 ——鶴岡における実態調査—— | 〃 | 〃 |
| 6 | 少年と新聞 ——小学生・中学生の新聞への接近と理解—— | 〃 | 〃 |
| 7 | 入門期の言語能力 | 〃 | 〃 |
| 8 | 談話語の実態 | 〃 | 〃 |
| 9 | 読みの実験的研究 ——音読にあらわれた読みあやまりの分析—— | 〃 | 〃 |
| 10 | 低学年の読み書き能力 | 〃 | 〃 |
| 11 | 敬語と敬語意識 | 〃 | 〃 |
| 12 | 総合雑誌の用語(巻編) ——現代語の語彙調査—— | 〃 | 〃 |
| 13 | 総合雑誌の用語(後編) ——現代語の語彙調査—— | 〃 | 〃 |
| 14 | 中学年の読み書き能力 | 〃 | 〃 |
| 15 | 明治初期の新聞の用語 | 〃 | 〃 |
| 16 | 日本方言の記述的研究 | 明治書院刊 | 〃 |
| 17 | 高学年の読み書き能力 | 秀英出版刊 | 〃 |
| 18 | 話しことばの文型(1) ——対話資料による研究—— | 〃 | 2,000円 |
| 19 | 総合雑誌の用字 | 〃 | 品切れ |
| 20 | 同音語の研究 | 〃 | 〃 |
| 21 | 現代雑誌九十種の用語用字(1) ——総記および語彙表—— | 〃 | 3,000円 |
| 22 | 現代雑誌九十種の用語用字(2) ——漢字表—— | 〃 | 3,000円 |

| | | | |
|------|---|---------|---------|
| 23 | 話しことばの文型 (2) —独話資料による研究— | 秀英出版刊 | 2,000円 |
| 24 | 横組みの字形に関する研究 | 〃 | 品切れ |
| 25 | 現代雑誌九十種の用語用字 (3) —分析— | 〃 | 3,000円 |
| 26 | 小学生の言語能力の発達 | 明治図書刊 | 品切れ |
| 27 | 共通語化の過程 —北海道における親子三代のことば— | 秀英出版刊 | 〃 |
| 28 | 類義語の研究 | 〃 | 〃 |
| 29 | 戦後の国民各層の文字生活 | 〃 | 400円 |
| 30-1 | 日本語地図 図 (1) | 大蔵省印刷局刊 | 品切れ |
| | 日本語地図 図 (1) <縮刷版> | 〃 | 17,000円 |
| 30-2 | 日本語地図 図 (2) | 〃 | 品切れ |
| | 日本語地図 図 (2) <縮刷版> | 〃 | 17,000円 |
| 30-3 | 日本語地図 図 (3) | 〃 | 品切れ |
| | 日本語地図 図 (3) <縮刷版> | 〃 | 17,000円 |
| 30-4 | 日本語地図 図 (4) | 〃 | 品切れ |
| | 日本語地図 図 (4) <縮刷版> | 〃 | 17,000円 |
| 30-5 | 日本語地図 図 (5) | 〃 | 品切れ |
| | 日本語地図 図 (5) <縮刷版> | 〃 | 17,000円 |
| 30-6 | 日本語地図 図 (6) | 〃 | 品切れ |
| | 日本語地図 図 (6) <縮刷版> | 〃 | 17,000円 |
| 31 | 電子計算機による国語研究 | 秀英出版刊 | 品切れ |
| 32 | 社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) —親族語彙と社会構造— | 〃 | 〃 |
| 33 | 家庭における子どものコミュニケーション意識 | 〃 | 350円 |
| 34 | 電子計算機による国語研究 (Ⅱ) —新聞の用語用字調査の処理組織— | 〃 | 品切れ |
| 35 | 社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) —マキ・マケと親族呼称— | 〃 | 〃 |
| 36 | 中学生の漢字習得に関する研究 | 〃 | 〃 |
| 37 | 電子計算機による新聞の語彙調査 | 〃 | 〃 |
| 38 | 電子計算機による新聞の語彙調査 (Ⅱ) | 〃 | 〃 |

| | | | |
|----|---------------------------------------|-------|--------|
| 39 | 電子計算機による国語研究(Ⅲ) | 秀英出版刊 | 品切れ |
| 40 | 送りがな意識の調査 | 〃 | 1,500円 |
| 41 | 待遇表現の実態 —松江24時間調査資料から— | 〃 | 品切れ |
| 42 | 電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅲ) | 〃 | 1,200円 |
| 43 | 動詞の意味・用法の記述的研究 | 〃 | 6,000円 |
| 44 | 形容詞の意味・用法の記述的研究 | 〃 | 4,000円 |
| 45 | 幼児の読み書き能力 | 東京書籍刊 | 4,500円 |
| 46 | 電子計算機による国語研究(Ⅳ) | 秀英出版刊 | 700円 |
| 47 | 社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3) —性向語彙と価値観— | 〃 | 品切れ |
| 48 | 電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅳ) | 〃 | 3,000円 |
| 49 | 電子計算機による国語研究(Ⅴ) | 〃 | 900円 |
| 50 | 幼児の文構造の発達 —3歳~6歳児の場合— | 〃 | 品切れ |
| 51 | 電子計算機による国語研究(Ⅵ) | 〃 | 1,000円 |
| 52 | 地域社会の言語生活 —福岡における20年前との比較— | 〃 | 1,800円 |
| 53 | 言語使用の変遷(1) —福島県北部地域の面接調査— | 〃 | 2,500円 |
| 54 | 電子計算機による国語研究(Ⅶ) | 〃 | 1,000円 |
| 55 | 幼児語の形態論的な分析 —動詞・形容詞・述語名詞— | 〃 | 品切れ |
| 56 | 現代新聞の漢字 | 〃 | 6,000円 |
| 57 | 比喩表現の理論と分類 | 〃 | 6,000円 |
| 58 | 幼児の文法能力 | 東京書籍刊 | 5,500円 |
| 59 | 電子計算機による国語研究(Ⅷ) | 秀英出版刊 | 1,300円 |
| 60 | X線映画資料による母音の発音の研究 —フォネーム研究序説— | 〃 | 2,500円 |
| 61 | 電子計算機による国語研究(Ⅸ) | 〃 | 品切れ |
| 62 | 研究報告集(1) | 〃 | 1,700円 |
| 63 | 児童の表現力と作文 | 東京書籍刊 | 6,000円 |
| 64 | 各地方言親族語彙の言語社会学的研究(1) | 秀英出版刊 | 2,000円 |
| 65 | 研究報告集(2) | 〃 | 3,000円 |

| | | | |
|------|-----------------------------------|-------|---------|
| 66 | 幼 児 の 語 彙 能 力 | 東京書籍刊 | 8,000円 |
| 67 | 電子計算機による国語研究(X) | 秀英出版刊 | 1,500円 |
| 68 | 専 門 語 の 諸 問 題 | 〃 | 4,000円 |
| 69 | 幼 児 ・ 児 童 の 連 想 語 彙 表 | 東京書籍刊 | 6,800円 |
| 70-1 | 大 都 市 の 言 語 生 活 —分析編— | 三省堂刊 | 7,800円 |
| 70-2 | 大 都 市 の 言 語 生 活 —資料編— | 〃 | 12,000円 |
| 71 | 研 究 報 告 集 (3) | 秀英出版刊 | 4,800円 |
| 72 | 幼 児 ・ 児 童 の 概 念 形 成 と 言 語 | 東京書籍刊 | 6,800円 |
| 73 | 企 業 の 中 の 敬 語 | 三省堂刊 | 9,500円 |
| 74 | 研 究 報 告 集 (4) | 秀英出版刊 | 品切れ |
| 75 | 現 代 表 記 の ゆ れ | 〃 | 2,700円 |
| 76 | 高 校 教 科 書 の 語 彙 調 査 | 〃 | 5,000円 |
| 77 | 敬 語 と 敬 語 意 識 —岡崎における20年前との比較— | 三省堂刊 | 8,000円 |
| 78 | 日 本 語 教 育 の た め の 基 本 語 彙 調 査 | 秀英出版刊 | 6,000円 |
| 79 | 研 究 報 告 集 (5) | 〃 | 4,200円 |
| 80 | 言 語 行 動 に お け る 日 独 比 較 | 三省堂刊 | 8,000円 |
| 81 | 高 校 教 科 書 の 語 彙 調 査 (2) | 秀英出版刊 | 5,000円 |
| 82 | 現 代 日 本 語 動 詞 の ア ス ペ ク ト と テ ン ス | 〃 | 5,000円 |
| 83 | 研 究 報 告 集 (6) | 〃 | 4,200円 |
| 84 | 方 言 の 諸 相 —『日本語新地図』検証調査報告— | 三省堂刊 | 9,800円 |
| 85 | 研 究 報 告 集 (7) | 秀英出版刊 | 4,000円 |
| 86 | 社 会 変 化 と 敬 語 行 動 の 標 準 | 〃 | 9,000円 |
| 87 | 中 学 校 教 科 書 の 語 彙 調 査 | 〃 | 5,000円 |
| 88 | 日 独 仏 西 基 本 語 彙 対 照 表 | 〃 | 8,500円 |
| 89 | 雑 誌 用 語 の 変 遷 | 〃 | 7,000円 |
| 90 | 研 究 報 告 集 (8) | 〃 | 3,000円 |
| 91 | 中 学 校 教 科 書 の 語 彙 調 査 II | 〃 | 5,000円 |
| 92 | 談 話 行 動 の 諸 相 —座談資料の分析— | 三省堂刊 | 2,800円 |
| 93 | 方 言 研 究 法 の 探 索 | 秀英出版刊 | |
| 94 | 研 究 報 告 集 (9) | 〃 | 3,500円 |

国立国語研究所資料集

| | | | |
|------|-------------------------------|---------|--------|
| 1 | 国語関係刊行書目(昭和17~24年) | 秀英出版刊 | 品切れ |
| 2 | 語彙調査——現代新聞用語の一例—— | 〃 | 〃 |
| 3 | 送り仮名法資料集 | 〃 | 〃 |
| 4 | 明治以降国語学関係刊行書目 | 〃 | 〃 |
| 5 | 沖繩語辞典 | 大蔵省印刷局刊 | 4,300円 |
| 6 | 分類語彙表 | 秀英出版刊 | 1,800円 |
| 7 | 動詞・形容詞問題語用例集 | 〃 | 1,700円 |
| 8 | 現代新聞の漢字調査(中間報告) | 〃 | 品切れ |
| 9 | 牛店 <small>雑談</small> 安愚楽鍋用語索引 | 〃 | 1,500円 |
| 10-1 | 方言談話資料(1)——山形・群馬・長野—— | 〃 | 6,000円 |
| 10-2 | 方言談話資料(2)——奈良・高知・長崎—— | 〃 | 6,000円 |
| 10-3 | 方言談話資料(3)——青森・新潟・愛知—— | 〃 | 6,000円 |
| 10-4 | 方言談話資料(4)——福井・京都・島根—— | 〃 | 6,000円 |
| 10-5 | 方言談話資料(5)——岩手・宮城・千葉 静岡—— | 〃 | 6,000円 |
| 10-6 | 方言談話資料(6)——鳥取・愛媛・宮崎・沖縄—— | 〃 | 6,000円 |
| 10-7 | 方言談話資料(7)——老年層と若年層との会話—— | 〃 | 6,000円 |
| 10-8 | 方言談話資料(8)——老年層と若年層との会話—— | 〃 | 6,000円 |
| 10-9 | 方言談話資料(9)——場面設定の対話—— | 〃 | 品切れ |
| 11 | 日本語地域語形索引 | 大蔵省印刷局刊 | 1,500円 |

国語辞典編集資料

| | | | |
|---|---|------|---------|
| 1 | 国定読本用語総覧1——第1期(あ~ん)—— | 三省堂刊 | 25,000円 |
| 2 | 国定読本用語総覧2 第2期(あ~て) ——【尋常小学校読本】明治42年度以降使用—— | 〃 | 28,000円 |

言語処理データ集

| | | | |
|---|---------------------------------------|---------------|----------|
| 1 | 高校教科書文脈付き用語索引 | 日本マイクロ写真 | 35,000円 |
| 2 | 話しことば文脈付き用語索引(1) ——【言語生活】録音器欄データ—— | 〃 | 50,000円 |
| 3 | 現代雑誌九十種の用語字 五十音順語彙表・採集カード | 東京都板橋福祉 工場 | 225,000円 |

国立国語研究所研究部資料

| | | |
|---------------------|-------|--------|
| 幼 児 の こ と ば 資 料 (1) | 秀英出版刊 | 3,800円 |
| 幼 児 の こ と ば 資 料 (2) | 〃 | 3,800円 |
| 幼 児 の こ と ば 資 料 (3) | 〃 | 6,000円 |
| 幼 児 の こ と ば 資 料 (4) | 〃 | 6,000円 |
| 幼 児 の こ と ば 資 料 (5) | 〃 | 6,000円 |
| 幼 児 の こ と ば 資 料 (6) | 〃 | 6,000円 |

国立国語研究所論集

| | | | |
|---|-----------------|-------|--------|
| 1 | こ と ば の 研 究 | 秀英出版刊 | 品切れ |
| 2 | こ と ば の 研 究 第2集 | 〃 | 〃 |
| 3 | こ と ば の 研 究 第3集 | 〃 | 〃 |
| 4 | こ と ば の 研 究 第4集 | 〃 | 〃 |
| 5 | こ と ば の 研 究 第5集 | 〃 | 1,300円 |

日本語教育教材

| | | | |
|--------------------------------------|------------------|---------|--------|
| 日本語と日本語教育 ——発音・表現編—— | 国立国語研究所 文化庁共編 | 大蔵省印刷局刊 | 700円 |
| 日本語と日本語教育 ——文字・表現編—— | 〃 | 〃 | 850円 |
| 日本語の文法(上) ——日本語教育指導参考書4—— | 〃 | 〃 | 450円 |
| 日本語の文法(下) ——日本語教育指導参考書5—— | 〃 | 〃 | 550円 |
| 日本語教育の評価法 ——日本語教育指導参考書6—— | 〃 | 〃 | 700円 |
| 中・上級教授法 ——日本語教育指導参考書7—— | 〃 | 〃 | 500円 |
| 日本語の指示詞 ——日本語教育指導参考書8—— | 〃 | 〃 | 500円 |
| 日本語教育基本語彙七種 比較対照表 ——日本語教育指導参考書9—— | 〃 | 〃 | 1,000円 |
| 日本語教育文献索引 ——日本語教育指導参考書10—— | 〃 | 〃 | 1,400円 |
| 談話の研究と教育1 ——日本語教育指導参考書11—— | 〃 | 〃 | 550円 |
| 語彙の研究と教育(上) ——日本語教育指導参考書12—— | 〃 | 〃 | 600円 |
| 語彙の研究と教育(下) ——日本語教育指導参考書13—— | 〃 | 〃 | 700円 |

国立国語研究所年報 秀英出版刊

| | | | | | |
|----|----------|------|----|----------|--------|
| 1 | 昭和 24 年度 | 品切れ | 20 | 昭和 43 年度 | 品切れ |
| 2 | 昭和 25 年度 | 〃 | 21 | 昭和 44 年度 | 〃 |
| 3 | 昭和 26 年度 | 〃 | 22 | 昭和 45 年度 | 〃 |
| 4 | 昭和 27 年度 | 160円 | 23 | 昭和 46 年度 | 450円 |
| 5 | 昭和 28 年度 | 品切れ | 24 | 昭和 47 年度 | 品切れ |
| 6 | 昭和 29 年度 | 〃 | 25 | 昭和 48 年度 | 〃 |
| 7 | 昭和 30 年度 | 〃 | 26 | 昭和 49 年度 | 〃 |
| 8 | 昭和 31 年度 | 〃 | 27 | 昭和 50 年度 | 700円 |
| 9 | 昭和 32 年度 | 〃 | 28 | 昭和 51 年度 | 非 売 |
| 10 | 昭和 33 年度 | 〃 | 29 | 昭和 52 年度 | 〃 |
| 11 | 昭和 34 年度 | 〃 | 30 | 昭和 53 年度 | 800円 |
| 12 | 昭和 35 年度 | 〃 | 31 | 昭和 54 年度 | 1,200円 |
| 13 | 昭和 36 年度 | 〃 | 32 | 昭和 55 年度 | 1,300円 |
| 14 | 昭和 37 年度 | 〃 | 33 | 昭和 56 年度 | 1,300円 |
| 15 | 昭和 38 年度 | 250円 | 34 | 昭和 57 年度 | 2,000円 |
| 16 | 昭和 39 年度 | 品切れ | 35 | 昭和 58 年度 | 2,200円 |
| 17 | 昭和 40 年度 | 〃 | 36 | 昭和 59 年度 | 2,700円 |
| 18 | 昭和 41 年度 | 300円 | 37 | 昭和 60 年度 | 2,700円 |
| 19 | 昭和 42 年度 | 300円 | 38 | 昭和 61 年度 | 2,700円 |

国 語 年 鑑 秀英出版刊

| | | | |
|----------|-----|----------|--------|
| 昭和 29 年版 | 品切れ | 昭和 38 年版 | 品切れ |
| 昭和 30 年版 | 〃 | 昭和 39 年版 | 〃 |
| 昭和 31 年版 | 〃 | 昭和 40 年版 | 〃 |
| 昭和 32 年版 | 〃 | 昭和 41 年版 | 〃 |
| 昭和 33 年版 | 〃 | 昭和 42 年版 | 〃 |
| 昭和 34 年版 | 〃 | 昭和 43 年版 | 〃 |
| 昭和 35 年版 | 〃 | 昭和 44 年版 | 〃 |
| 昭和 36 年版 | 〃 | 昭和 45 年版 | 1,500円 |
| 昭和 37 年版 | 〃 | 昭和 46 年版 | 2,000円 |

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 昭和47年版 | 2,200円 | 昭和55年版 | 品切れ |
| 昭和48年版 | 2,700円 | 昭和56年版 | 〃 |
| 昭和49年版 | 3,800円 | 昭和57年版 | 5,500円 |
| 昭和50年版 | 品切れ | 昭和58年版 | 5,500円 |
| 昭和51年版 | 4,000円 | 昭和59年版 | 5,800円 |
| 昭和52年版 | 品切れ | 昭和60年版 | 5,800円 |
| 昭和53年版 | 〃 | 昭和61年版 | 7,800円 |
| 昭和54年版 | 〃 | 昭和62年版 | 7,800円 |

| | | | |
|-----------------------------|----------------------|-------|--------|
| 高 校 生 と 新 聞 | 国立国語研究所 日本新聞協会 共編 | 秀英出版刊 | 280円 |
| 青年とマス・コミュニケーション | 日本新聞協会 国立国語研究所 共著 | 金沢書店刊 | 品切れ |
| 国立国語研究所三十年のあゆみ —研究業績の紹介— | | 秀英出版刊 | 1,500円 |

日本語教育映画基礎編(全30巻)

(各16巻ミリカラー, 5分, 日本シネセル社販売)

| 巻 | 題 名 | 制作年度(昭和) |
|--------|---------------------------------|----------|
| ユニット 1 | | |
| 1* | これは かえるです —「こそあど」+「は～です」— | 49 |
| 2* | さいふは どこにありますか —「こそあど」+「～がある」— | 49 |
| 3* | やすすくないです, たかいです —形容詞— | 49 |
| 4* | きりんは どこにいますか —「いる」「ある」— | 51 |
| 5* | なにを しましたか —動 詞— | 50 |
| ユニット 2 | | |
| 6* | しずかな こうえんで —形容動詞— | 50 |
| 7* | さあ, かぞえましょう —助数詞— | 50 |
| 8* | どちらが すきですか —比較・程度表現— | 52 |
| 9* | かまくらを あるきます —移動表現— | 51 |
| 10* | もみじが とても きれいでした —です, でした, でしょう— | 52 |

ユニット 3

| | | | |
|-----|-----------------|-------------------|----|
| 11* | きょうは あめが ふっています | —して、している、していた— | 52 |
| 12* | そうじは してありますか | —してある、しておく、してしまう— | 53 |
| 13* | おみまいに いきませんか | —依頼・勧誘の表現— | 53 |
| 14* | なみのおとが きこえてきます | —「いく」「くる」— | 53 |
| 15* | うつくしい さらに なりました | —「なる」「する」— | 50 |

ユニット 4

| | | | |
|-----|----------------------|------------|----|
| 16* | みずうみのえを かいたことが ありますか | —経験・予定の表現— | 54 |
| 17* | あのいわまで およげますか | —可能の表現— | 55 |
| 18 | よみせを みに いきたいです | —意志・希望の表現— | 54 |
| 19* | てんきが いいから さんぼを しましょう | —原因・理由の表現— | 55 |
| 20* | さくらが きれいだそうです | —伝聞・様態の表現— | 55 |

ユニット 5

| | | | |
|-----|-----------------------|------------|----|
| 21* | おけいこを みに いっても いいですか | —許可・禁止の表現— | 56 |
| 22 | あそこに のぼれば うみがみえます | —条件の表現1— | 56 |
| 23 | いえが たくさんあるのに とてもしずかです | —条件の表現2— | 56 |
| 24 | おかねを とられました | —受身の表現1— | 51 |
| 25 | あめに ふられて こまりました | —受身の表現2— | 55 |

ユニット 6

| | | | |
|-----|-----------------|--------------|----|
| 26 | このきつぶを あげます | —やり・もらいの表現1— | 57 |
| 27 | にもつを もって もらいました | —やり・もらいの表現2— | 57 |
| 28 | てつだいを させました | —使役の表現— | 57 |
| 29* | よく いらっしやいました | —待遇表現1— | 58 |
| 30* | せんせいを おたずねします | —待遇表現2— | 58 |

販売価格

| | 16%カラー | VTRカラー (3/4インチ) | VTRカラー (1/2インチ) |
|-------|----------|-----------------|-----------------|
| 全巻セット | ¥720,000 | ¥535,000 | ¥432,000 |
| 各ユニット | ¥112,500 | ¥84,000 | ¥67,500 |
| 各巻 | ¥30,000 | ¥22,000 | ¥18,000 |

第1巻～第3巻は文化庁との共同企画

*については日本語教育映画解説の冊子がある。

日本語教育映画 関連教材 (株) ビスコ販売)

| | |
|-----------------------------|-----------|
| 日本語教育映画 基礎編 教師用マニュアル (全6分冊) | 各分冊1,000円 |
| 日本語教育映画 基礎編 練習帳 (全6分冊) | 〃 500円 |
| 日本語教育映画 基礎編 シナリオ集 (全1冊) | 1,000円 |
| 日本語教育映画 基礎編 総合語彙表 (全1冊) | 1,500円 |
| 日本語教育映画 基礎編 総合文型表 (全1冊) | 1,500円 |
| 映像教材による教育の現状と可能性 (全1冊) | |
| 日本語教育映画ワークショップ報告 日本シネセル社刊 | 2,500円 |

日本語教育映像教材中級編一覽

(各巻ビデオ及び16ミリカラー, 約5分, 日本シネセル社販売)

| セグメント | 題名 | 制作年度 (昭和) |
|--------|----------------------|-----------|
| ユニット 1 | 初めて会う人と —紹介・あいさつ— | |
| 1 | 自己紹介をする —会社の歓迎会で— | 61 |
| 2 | 人を紹介する —訪問先の応接室で— | 61 |
| 3 | 友人に出会う —喫茶店で— | 61 |
| 4 | 面会の約束をする —電話で— | 61 |
| 5 | 道をきく —交番で— | 61 |
| 6 | 会社を訪問する —受付と応接室で— | 61 |
| ユニット 2 | 人に何かを頼むとき —依頼・要求・指示— | |
| 7 | 届出をする —市役所で— | 62 |
| 8 | 買物をする —デパートで— | 62 |
| 9 | 打合せをする —出版社で— | 62 |
| 10 | お願いをする —大学で— | 62 |
| 11 | 手伝いを頼む —家庭で— | 62 |
| 12 | 友達を誘う —友達の家で— | 62 |

販売価格

| | 16%カラー | VTRカラー(3/4インチ) | VTRカラー(1/2インチ) |
|--------|----------|----------------|----------------|
| 各ユニット | ¥157,500 | ¥95,000 | ¥74,000 |
| 各セグメント | ¥35,000 | ¥37,000 | ¥29,500 |

OCCASIONAL PAPERS – 9 –

ISII Hisao : Criticism of Japanese Modern Text

SAITO Hidenori : Kanji Information Data-Base

TANAKA Takushi : Definite Clause Set Grammars for Free Word-
Order Languages

NISHIHARA Suzuko : Shifts of Cohesion in Inter-lingual Communication

SHOHO Isamu : Predicate Complement Constructions —In Japanese
and Indonesian—

HINATA Shigeo : For the Description of Reduplicated Forms in
Japanese

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE
3-9-14 NISIGAOKA, KITA-KU, TOKYO

1988